

## 社会資本総合整備計画『地域の交流と経済活動の活性化を支えるみちづくり』の中間評価

### ●委員

国道422号（大石東バイパス工区）と五番領安井川線（安曇川工区）の整備をしていただきありがたい。大石東バイパスは新名神大津スマートICにもアクセスが可能で、県民にとっても、観光客数の増加に対しても効果的な事業であったと思う。また、安曇川工区の方も市役所に行く道が一直線になり、市民にとって非常によくなったと思う。

主要な事業の選定については、国道307号（長野バイパス工区）を選定された。以前から信楽は、京阪神からの観光客も多く、また商業施設があるということで、時間によっては渋滞が発生している。最優先して整備される区間は、信楽駅へ向かう道路に接続させるということで、市民にとっても観光客にとっても、時間短縮となり安全に走行できるようになる。適切な事業の選定ではないかと思う。

### ●委員

主要な事業の選定候補に3事業が挙げたということだが、その中で長野バイパスが選ばれたという説明がもうひとつよくわからなかった。何故、この事業が今回選ばれたのか？

### ○事務局

事業費が最も大きいこと、あわせて事業延長が最も長く事業規模が大きいということから、長野バイパス工区を選定した。

### ●委員

逆に、区間が短くても早くやった方がいいというものや、地域の安全面、あるいは交通の利便性といった面から選定するという考え方もあると思うが？

### ○事務局

主要な事業の選定の説明の際にも少し触れたが、事業期間が長い事業は社会情勢の変化に合わせて、その妥当性について改めて確認・検証が必要だと認識している。このようなことから、事務局としては事業期間の長い国道307号を提案させていただいた。

### ●委員

他の2つの事業については、どのような予定になっているか？

### ●委員長

3つの中から主要な事業として特に重点的に見ていく事業を決めるわけだが、それ以外の2つについては、今後どのように取り組まれるのか？

## ○事務局

事業評価としては、主要な事業として国道 307 号を選んでいるが、残りの 2 事業についても、工区の再考や社会情勢にあった見直しを進めながら、早期に事業効果を発現させたいと考えている。

## ●委員長

2 事業についても継続して進めていくということですね。

## ○事務局

はい。継続して進めていく。

## ●委員

事業の発現状況に関して、最後のスライドに赤字で書いている「安全安心に利用できる道路空間を確保」や「地域の交流を支える交通の円滑化」について、本来は、交通事故件数や実際の経済効果といった指標が必要だと思う。今回は中間ということで、ここの部分は定性的な表現で承知するが、この発現状況の導き方としては、少し不足していると思うので、事後評価を受ける際には、しかるべき資料を用意していただく必要があると思う。

例えば、スライドの 15 枚の「安全安心に利用できる道路空間を確保」に至るプロセスは、バイパス整備による時間短縮という資料のみである。14 ページに若干出てはいるが、要するに従前のものが、どのような形で改善され寄与したのか、それが確保できたのかというところの資料としては、いささか不十分ではないかと思う。

また 13 枚目のスライドについても、「地域の交流を支える交通の円滑化に寄与」という部分で、地図を見てそのとおりとわれればそうかもしれないが、ロジックとして、距離が短くなって時間短縮になったというだけで、やはりちょっと資料としては不十分かなと思う。定性的なものであっても、少なくとも、しっかりロジックを提示していただける資料を用意してもらいたいと感じた。

## ○事務局

今後の事業評価において、資料の見直し等を考えていきたいと思う。

## ●委員

ちなみに事後評価の際は、これらの部分について、定量的な調査をされるのか？

## ●委員長

スライドの 9 枚目に、事業主体、期間、事業数、それから目標というのがあり、この計画の成果目標のところでは 16 分短縮したということを掲げて、国に交付金を申請したというこ

とだと思ふ。今日のご報告については、これに対して何分短縮できたというのが、第一に言及しなければならない部分で、この時間短縮が目標に関わっているという説明だと理解していた。

## ○事務局

整備計画の定量的指標については、時間短縮としているため、それについて説明させていただいた。

## ●委員長

例えば、どういう説明があるとより効果の発現状況として分かりやすい資料となるのか。事務局側ですべて対応できるかはわからないが、少し参考までにお示しいただけると良いのではないかと思うが如何か？

## ●委員

ご指摘いただいたスライドの定量的指標の16分短縮の部分は承知しているが、定量的指標に至るより上位の話として、「季節を問わず誰もが安全で安心して利用できる道路空間を確保する」、「地域の交流を支える道路整備により成長基盤の強化を図る」という目標がある。これらに至るプロセスは時間短縮だけではないと思う。事務局側として、そういった目標に対する定量的指標の設定の仕方については、引き続き十分研究・検討される必要があるかなと思う。

## ●委員長

ありがとうございました。引き続き検討して頂くということでよろしく願います。

1点確認をしたい。この目標の内の「季節を問わず誰もが安全で安心して利用できる道路空間を確保する」について、これは除雪関係の事業が防災・安全交付金に移行したということで、これには言及されなかったということでしょうか？それとも今回の対象とされた事業については、主に2点目を中心であるということと言及されたということか？

## ○事務局

主に2点目を中心ということで説明させていただいた。

## ●委員

計画を立てる段階の評価指標については、前回の委員会で、今後、県でも検討していきたいという話があったところなので、引き続きの検討事項ということで進めていきたいと思う。

以上